

平成 28 年度

第 2 回細胞検査士会役員会

議案書

日時：第 55 回日本臨床細胞学会（秋季大会）

2016 年 11 月 17 日（木） 15：00-16：00

場所：レンブラントホテル大分 久住の間（2F）

日豊本線 JR 大分駅 上野の森口（南口）より徒歩約 8 分，タクシー約 5 分

I. 開会	
II. 会長あいさつ	
III. 議事録確認：平成 28 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事	p 7
平成 28 年度細胞検査士会総会議事録	p 9
IV. 報告事項	p 1
V. 議案	
VI. 確認・検討事項	
1. LOVE49 のぼり旗作製について	p 5
2. 子宮頸がん検診委員会からがん検診委員会への変更について	p 6
3. 選挙管理委員会構成員の選任について	p 6
VII. 資料	
【資料 1】 確認：平成 28 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事録案	p 7
【資料 2】 確認：平成 28 年度 細胞検査士会総会議事録案	p 9
【資料 3】 報告：「細胞検査士会平成 29-30 年度役員選挙実施要綱」みなし決議案提案書	p 10
【資料 4】 報告：平成 28 年度渉外委員会事業報告	p 14
【資料 5】 報告：平成 27 年度細胞検査士会公益広報活動調査結果 啓発・社会活動の内訳	p 16
【資料 6】 報告：情報委員会 Internet Cytology HP(ntercyto.com)CMS システム構築	p 18
【資料 7】 報告：細胞検査士意識調査県別回答数	p 22
【資料 8】 報告：第 1 回 50 周年記念事業会役員会議議事録	p 23
【資料 9】 報告：賛助・広告受領企業 1110	p 25
【資料 10】 報告：50 周年記念誌作成案	p 26
【資料 11】 報告：50 周年記念誌作成見積書	p 29
【資料 12】 報告：賛助金趣意書（公印）	p 30
【資料 13】 報告：賛助金趣意書	p 31
【資料 14】 報告：平成 29-30 年度細胞検査士会役員（幹事）選挙開票作業監査報告書	p 40
【資料 15】 報告：幹事選挙当選者と会長・副会長選挙について	p 41
【資料 16】 検討：がん検診委員会の概要	p 42
VIII. 閉会	

I. 開会

II. 会長あいさつ

III. 平成27年度細胞検査士会第2回役員会議事録の確認

1. 平成28年度細胞検査士会第1回役員会議事録 【資料1】 p 7
2. 平成28年度細胞検査士会総会議事録 【資料2】 p 9

IV. 報告事項

1. 総務委員会

みなし決議「細胞検査士会平成29-30年度役員選挙実施要綱」 【資料3】 p10

- 1) 議案：細胞検査士会平成29-30年度役員選挙実施要綱案
- 2) 幹事総数：45名
- 3) 役員会決議があったとみなされた日：2016年9月9日
2016年8月16日に議案提案し、8月29日までの検討期間に修正し、9月2日から9月9日の採決期間に幹事全員から電磁的に賛成を得るとともに、監事からの意義がないことを確認し、細胞検査士会役員会運営に関する細則 第5条2により、役員会の決議があったとみなされた。
- 4) 選管委員の選出に関して、幹事2名が採決期間に意義を訴えた。1名はクローズな選管、選挙であることの説明をMLで求めた。もう1名は自身の意見を議事録に残すことを条件に同意した。選管委員の選出は、「役員選任に関する細則第8条」での規定事項であり、今回のみなし決議案の規定事項にはない。さらに第8条に従って会長に任命された選挙管理委員会が前回と同様の実施要綱に従って役員選挙を行うことは、前回の役員会で確認、検討され、意義の訴えもなく、全員が同意した案件である。
- 5) 議決に関するお願い
 - ① 役員会で発言なく、議案の検討期間に発言なく、採決時に突然反対票が投じられると、みなし決議は否決されるが、これではみなし決議制度自体の成立が困難となる。
審議は審議する場において十分に行い、採決時は表決のみを実行していただきたい。
 - ② 提案した議案について審議、表決していただきたい。
 - ③ 議案とは別の案件については、別の議案として提案し、審議、議決願いたい。

2. 経理委員会

- 1) 平成27年度 細胞検査士会監査会開催
平成28年4月9日（土曜日）14時から17時 日本臨床細胞学会事務局
- 2) 平成28年度 細胞検査士会収支計算書作成 予定
- 3) 平成29年度 細胞検査士会予算案作成 予定
- 4) 平成28年度 細胞検査士会監査会開催 予定
平成29年3月25日（土曜日）14時から17時 日本臨床細胞学会事務局

3. 庶務委員会

物故会員

平澤 太郎 (ひらさわ たろう) CT0131

安藤 千恵子 (あんどう ちえこ) CT6946

4. 規約委員会

5. 渉外委員会

1) 平成28年度渉外委員会事業報告 【資料 4】 p14

2) 平成27年度細胞検査士会公益広報活動調査結果 啓発・社会活動の内訳 【資料 5】 p16

6. 編集委員会

7. 学術委員会

1) 平成28年5月27～29日、第57回日本臨床細胞学会総会での協力
細胞検査士要望講演、ヤングコミッティーワークショップ、わからん会

2) 平成28年7月9日(東京)

第71回・72回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議
(学術委員会・精度保証委員会)

3) 平成28年8月27日・28日(東京)

第71回 細胞検査士教育セミナーの実施協力

4) 平成29年2月25日、26日

第1回・第2回 細胞検査士会ワークショップ

『口腔領域・子宮頸部の臨床、病理、細胞診断』(予定)

9. 国際委員会

第8回日・台・韓細胞検査士合同セミナー

開催日：2017年2月18日(セミナー)、19日(ワンデイ・ツアー予定)

開催地：台湾宜蘭県羅東博愛医院 (<http://www.pohai.org.tw/>)

No.83, Nanchang St., Luodong Township, Yilan County 265, Taiwan

演題申込み締切：2016年12月31日

10. 情報委員会

Internet Cytology HP (ntercyto.com) CMSシステム構築について 【資料 6】 p18

11. 都道府県細胞検査士会代表者委員会

1) 都道府県代表者会議定期連絡メール配信

2) 都道府県代表者委員会のメーリングリストの移行

サクラメーリングリストのサーバーから細胞検査士会情報委員会が管理するサーバーへ

3) 平成28年度第1回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催

4) 平成28年度第2回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催(予定)

12. あり方委員会

細胞検査士意識調査について

【資料 7】 p22

細胞検査士 HP を利用して Web 形式で 5 月 1 日から行ってきましたが、なかなか会員の回答率が悪く、10 月 31 日が締め切りでしたが、当初目標にしていた 50% に届いていません。10 月 28 日現在 7.8% で、来年の細胞検査士会報に掲載するには、この数字で信頼性のあるアンケートになるのか疑問が残ります。各都道府県代表者の方には、11 月初めの都道府県代表者 ML で各都道府県の回答状況をお知らせして、会員の周知をお願いしました。現在 11.3% でこの 2 週間で約 4% も増加しました。また少しでも目標の回答率に近づくようアンケートの回答期限を 12 月 25 日まで延長しました。すでに HP も回答期限の延長をアップしておりますので、是非各県の会員の皆様にアンケートにご協力頂くようお願いいたします。

13. 精度保証委員会

平成 28 年度活動報告

1) 平成 28 年 6 月 5 日 (新潟)

平成 27 年度地域支援「初心者細胞検査士養成ワークショップ」 参加人数 40 名

2) 平成 28 年 7 月 9 日 (東京)

第 71 回・72 回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議

(学術委員会・精度保証委員会)

3) 平成 28 年 8 月 27 日・28 日 (東京)

第 71 回 細胞検査士教育セミナーの実施協力

・セルフアセスメント (学術委員会・精度保証委員会連携事業)

・ワークショップ (細胞診と免疫染色)

4) 平成 28 年 9 月 2 日 (大阪)

平成 28 年度 細胞検査士養成ワークショップ 問題作成会議

5) 平成 28 年 9 月 5 日・6 日 (神戸)

第 72 回 細胞検査士教育セミナーの実施協力

・セルフアセスメント (学術委員会・精度保証委員会連携事業)

・ワークショップ (細胞診と免疫染色)

6) 平成 28 年 10 月 1 日・2 日 (東京)

平成 28 年度 細胞検査士養成ワークショップ

参加人数 110 名

(精度保証委員会会議 今後の活動方針について)

7) 平成 28 年 10 月 8 日・9 日 (大阪)

平成 28 年度 細胞検査士養成ワークショップ

参加人数 98 名

(精度保証委員会会議 今後の活動方針について)

活動方針について

*細胞検査士教育セミナーセルフアセスメントスライドの活用について

スライド貸し出しは中止とし、ホームページに解答正解率とともに、簡単な解説文を記載する方向で、情報委員会に相談したい。

*標本作製法について

標本作製の色々を紹介、まとめる本 (ウエーブ利用) としたい。

そこで、役員の方々にアンケートをお願いし、推奨の標本作製を色々、

紹介してもらいたい。アンケート内容は検討中。
* 来年度の初心者細胞検査士ワークショップの開催地を募集

14. 子宮頸がん検診委員会

15. 細胞検査士会創立50周年記念事業準備委員会

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1) 50周年記念事業会会議議事録 | 【資料 8】 p23 |
| 2) 賛助・広告受領企業1110 | 【資料 9】 p25 |
| 3) 50周年記念誌作成案 | 【資料 10】 p26 |
| 4) 50周年記念誌作成見積書 | 【資料 11】 p29 |
| 5) 賛助金趣意書（公印） | 【資料 12】 p30 |
| 6) 賛助金趣意書 | 【資料 13】 p31 |

16. 選挙管理委員会

1) 選挙管理委員会の設置

目的 平成 29-30 年度細胞検査士会役員（会長・副会長・幹事）の選出
設置期間 平成 28 年 8 月 8 日から平成 29 年度第 1 回細胞検査士会役員会終了時まで
委員長 麻生 晃 （株）千葉細胞病理診断センター
委員 東 学 （独）北海道がんセンター
外館 明彦 （公財）岩手県対がん協会
二瓶 憲俊 （財）竹田総合病院
丸 喜明 千葉県がんセンター
姫路 由香里 （財）下越総合健康開発センター
水野 幸恵 福井県立病院
宮里 泰山 沖縄県立中部病

2) 幹事選挙

選挙人（投票者）

平成28年9月30日までに各都道府県細胞検査士会より選出され、選挙管理委員会により
選挙人として登録された者。

被選挙人（幹事候補者）

平成29年定時総会時に満65歳以下の会員のうち、平成28年9月30日までに立候補または
各都道府県細胞検査士会より推薦され、選挙管理委員会により被選挙人として登録された者。

選挙方法

所定の投票用紙を用いた選挙人による郵便投票

選挙日

平成28年10月15日：選挙人への投票用紙の発送

平成28年11月 5日：開票

【資料 14】 p40

平成28年11月 8日：HPに当選者を公示

【資料 15】 p41

3) 会長・副会長選挙

立候補資格：平成28年11 月5 日に開票された幹事選挙に当選した者

※ただし、会長と副会長の両方に重複して立候補することはできません

受付期間：平成28年12月5日（月）～12月17日（土）まで

届出方法：立候補者は会長・副会長の何れに立候補するのかを明示し、下記の必要書類を添えて選挙管理委員会（a-asou@san-g.com）まで、メールにて届け出てください

① 略歴

氏名、生年月日（西暦）、所属施設および職名、現職役職、会員種別

② 所信表明

立候補に際しての所信・抱負・動機・公約・方針などを500字以内にまとめたもの

③ 顔写真

略歴、所信表明および顔写真は、本会HPに掲載される予定です

V. 議案

VI. 確認・検討事項

1. 渉外委員会

2016年10月8日に渉外委員会から都道府県代表者に対して新規幟（認定NPO法人子宮頸がんを考える市民の会のデザインを基に細胞検査士会渉外委員会が立案：添付）の必要枚数を調査した。その結果、41都道府県から150枚を超える希望あり。なお、2都道府県が保留、4都道府県が未回答。その結果、細胞検査士会渉外委員会がまとめて発注した場合、下記のような内容になる。

金額：20万前後（詳細：181,650～217,980円）

枚数：150～180

単価：1,211円程度

寸法：1,800 x 600 mm

配色：フルカラー

材質：ポンジ（合成繊維）

縁：ヒートカット（ほつれ止め）

注意：チチ付き（旗竿への筒状の留め布）、

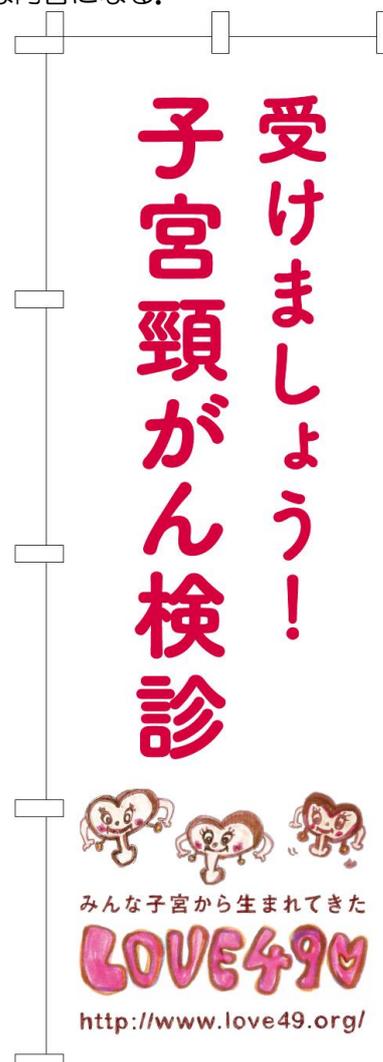
旗竿料金は含めていない。

デザイン料：5万程度は、

今年度渉外委員会で負担可能。

幟作成にあたり細胞検査士会での

全額あるいは半額負担が可能か否かご検討頂きたい。



2. 子宮頸がん検診委員会

子宮頸がん検診委員会からがん検診委員会への変更について

1) 臨時委員会：「委員会業務分担要綱」の附則の変更

8. 平成 28 年 月 日 一部改定施行.

子宮頸がん検診委員会をがん検診委員会に変更する.

- (1) がん検診に関する調査研究
- (2) がん検診受診への啓発活動
- (3) 期間は平成 30 年度までとする

2) 常置委員会への変更と名称変更

「委員会に関する細則」第 4 条（常置委員会）の変更

「委員会業務分担要綱」附則の変更

(がん検診委員会追加, 子宮頸がん委員会解散)

3. 選挙管理委員会構成員の選任について

1) 現在の関係規則

① 公益社団法人 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則

第5章 委員会（委員会）

第13条 この会は、部門別委員会を設置する.

2 委員会は、常置委員会及び臨時委員会としその規定は別に定める.

② 役員選任に関する細則 第8条（選挙管理委員会）

役員選挙の実務は、選挙管理委員会が選挙実施要綱に従って行い、選挙管理委員会構成員は会長が委嘱する.

③ 委員会に関する細則

第5条（臨時委員会）臨時委員会は役員会の承認により、特定の事業を遂行するとき、必要に応じて期間を限定して設置することができる.

第8条（選出方法） 1. 委員会構成員は会長が委嘱する.

2) 現在の関係規則変更の是非について

① みなし決議同意条件となった意見

「選挙管理委員会委員は、役員以外で、会員の中から役員会が指名し、会長が任命する。委員長は委員の中から互選される。」

「委員は役員が推選し、役員会で投票により、得票数の多いものから順に指名者を決定する。」

② 現在の関係規則を変更する必要あり

③ 現在の関係規則を変更する必要なし

Ⅸ. 資料

【資料 1】

平成 28 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事録

日時：第 57 回日本臨床細胞学会総会春期大会 平成 28 年 5 月 27 日 13 時 00 分～14 時 00 分

場所：横浜ランドマークタワー25 階（TKP ガーデンシティ PREMIUM）

セミナールーム 3 部屋番号 2520

【役員出席者】

出席：〔会長〕伊藤 仁〔副会長 2〕小松 京子，片山 博徳〔幹事 34〕平田 哲士，阿部 仁，仲村 武，深澤 政勝，河原 明彦，阿部 英二，古田 則行，南部 雅美，小川 勝成，遠藤 浩之，原田 仁稔，竹中 明美，今枝 義博，三宅 真司，安達 博成，石井 保吉，及川 洋恵，大野 喜作，柿沼 廣邦，川口 詳司，小林 幸弘，小山 芳徳，笹井 伸哉，渋谷 康雄，田所 猛，野崎 正行，服部 学，羽原 利幸，廣井 禎之，松本 慎二，丸川 活司，丸田 淳子，山城 篤，横山 俊朗〔監事 2〕上野 喜三郎，片岡 秀夫（敬称略）

会の成立：役員 47 名中 39 名出席，委任状提出 8 名，仲村庶務委員長が成立を宣言

議長選出：役員会運営に関する細則第 6 条により，平田総務委員長を選任

議事録作成：庶務委員会（川口幹事，丸川幹事）

議事録署名人：伊藤会長，片岡監事

伊藤会長挨拶：今回の日本臨床細胞学会は国際学会と一緒にということもあり，参加費が高額であるが，事前参加登録が 3,300 名と理事長の方から報告を受けている，1day チケットを利用した参加者も多いことが予想され，例年並みの参加者が予想される．幹事の方々は合わせて可能な限り国際学会への参加をお願いしたい．今年は平成 29-30 年度，日本臨床細胞学会の理事選挙が行われるが，細胞検査士会役員選挙，会長，副会長の選挙の年でもある．熊本の震災被害に対して，東日本の震災時と同様に細胞検査士会からの支援金等を行わないので，この後，その件についても皆さんの意見を伺いたい．

1. 議事録・報告事項の確認

報告事項

1) 物故会員

松本 律男 殿（CT 2563） 2015 年 10 月 1 日ご逝去

河野 正実 殿（CT 2978） 2015 年 12 月ご逝去

2) 平成 27 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録 特に異論なく了承された。

3) 報告事項 特に異論なく了承された

2. 議案

1) 第 1 号議案：「第 1 号議案：公益社団法人 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則の附則の変更」について，第 49 回細胞検査士資格認定試験を第 48 回に修正し，審議，議決，承認された．細胞検査士会定期総会議案とする．

- ・IAC 資格更新は変更なし
 - ・5年で単位が350点となる
 - ・更新後、退会した場合入会金が戻るのか事務局に確認する
- 2) 第2号議案：平成27年度事業報告及び収支決算について、審議、議決、承認された。細胞検査士会定期総会議案とする。
- 3) 第3号議案：細胞検査士会創立50周年記念事業実施要綱について、審議、議決、承認された。
- 4) 第4号議案：診断学推進協会細胞検査士会規則「支部施行規程」を廃止し、「都道府県細胞検査士会との連携に関する細則」を定めるについて、審議、議決、承認された。

3. 確認・検討事項

- 1) 平成29・30年度細胞検査士会役員選挙の実施について
役員選挙に関する細則第8条に従って会長に任命された選挙管理委員会が前回と同じ役員選挙実施要綱に従い、平成29・30年度の役員選挙を行う。合わせて、次の役員会の前までに選挙管理委員会の人選と実施要綱の作成、実施要綱をメールでのみなし決議を行う。
- 2) 子宮頸がん検診委員会からがん検診委員会への変更について
子宮頸がんだけでなく広い範囲で他団体などと協力し活動し、優先順位を決め着実にを行うことと、成果を論文で報告していくようにする。名称変更に関しては、次回役員会までに議案として提出する。

その他

- 1) 現在「細胞検査士の意識調査」アンケートは現時点で207名2,8%の回収率であり、今後多くの会員の皆様にアンケートを実施して頂き、集計結果は会報に掲載予定。
- 2) 熊本地震について
セミナーなどで募金箱を置くなどの活動をしていく。

伊藤会長 閉会の挨拶

滞りなく終了でき、ありがとうございました。今年、2年に一度の評議員選挙があり、この後の理事会で正式に決定する。前回は444人の評議員中、細胞検査士の評議員が66名であったが、今回は455人の評議員が選出された（評議員数は正会員の8%以内）。このうち細胞検査士の評議員は80名以上が選出された。会員増加により、評議員全体で10名程度の増員であったが、細胞検査士は20名近く増えた。理事にならないと学会に意見が反映しないので、引き続き少なくとも今の細胞検査士理事の数を確保したい。評議員になられた方々には是非とも理事になれるよう協力をお願いします

議事録署名人 伊藤 仁
片岡 秀夫

【資料 2】

平成 28 年度 細胞検査士会総会議事録案

日時：平成 28 年 5 月 28 日（土）13:20～13:50

会場：パシフィコ横浜 メインホール 1F

参加人数：132 名

開会：伊藤会長より開催挨拶

皆さん、こんにちは。お忙しい中、平成 28 年度細胞検査士会総会にお集まりいただきましてどうもありがとうございます。本年は、役員選挙の年になっています。また、各都道府県の代表者の皆様、所属している細胞検査士の皆様にはお世話になることが多いと思いますが、ご協力の程をよろしくお願いいたします。日本臨床細胞学会でも今年は評議員の選出があり、それに引き続いて理事の選挙がございます。この後の臨床細胞学会理事会に於いて承認され新しい評議員が組織されますが、それは、平成 29 年度、平成 30 年度の評議員となります。前は細胞検査士が 60 数名評議員となっておりますが、今回は、全体で 455 名の評議員の内、細胞検査士 80 数名が評議員となっております。臨床細胞学会を動かしているのは理事会であり、理事は評議員の中から選挙で選出されます。評議員に選出された皆様方には是非、細胞検査士の理事を誕生させる為に、一致団結してご協力頂きますようお願い申し上げます。

議長選出：総会に関する運用細則 第 5 条により、平田総務委員長が議長に選任

議事録作成：庶務委員会（笹井幹事）

議事録署名人：柿沼 廣邦、山城 篤

1. 報告事項

1) 物故会員：仲村庶務委員長が氏名を朗読し、出席者全員で黙祷を捧げた。

松本 律男 様 (CT 2563) 2015 年 10 月 1 日 ご逝去

河野 正実 様 (CT 2978) 2015 年 12 月 ご逝去

2) 50 周年記念事業について

平成 29 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）に実施すること等が伊藤会長より報告された。

3) 都道府県細胞検査士会との連携について

本会と都道府県細胞検査士会との連携を持つために細則を定めたことを遠藤都道府県代表者委員長より報告された。

4) 平成 29-30 年度細胞検査士会役員選挙について

前回と同様に行うことが伊藤会長より報告された。

2. 審議結果

1) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告および収支決算

収支決算報告は阿部経理委員長が行い、上野監事が監査報告し、審議、議決、承認した。

2) 第 2 号議案 平成 28 年度事業計画およびこれに伴う予算

予算報告は阿部経理委員長が行い、審議、議決、承認した。

3) 第 3 号議案 「公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士会に関する施行細則」の変更

報告は深澤規約委員長が行い、審議、議決、承認した。

【資料 3】

平成 28 年 9 月 2 日

細胞検査士会役員各位

細胞検査士会会長 伊藤 仁

「細胞検査士会平成 29-30 年度役員選挙実施要綱」みなし決議案提案書

細胞検査士会役員会運営に関する細則第 5 条 2 に基づき、役員会の決議の目的である「細胞検査士会平成 29-30 年度役員選挙実施要綱」制定を提案いたします。

提案事項

細胞検査士会平成 29-30 年度役員選挙実施要綱

細胞検査士会は役員選任に関する細則により、平成 29-30 年度役員選挙を次のように実施する。

1. 選挙の対象と実施期間

【選出役員】

この選挙により平成 29 年定時総会から 31 年定時総会までを任期とする会長 1 名、副会長 2 名、幹事若干名である。

【選挙の概要】

(1) 選挙は、都道府県細胞検査士会代表者委員会を介し、各都道府県細胞検査士会の協力を得て、平成 29-30 年度役員選挙管理委員会（選挙管理委員会）が実施する。

(2) 幹事、会長、副会長の選出の 3 回に分けて行う。

【選挙日程】

(1) 選挙管理委員会を平成 28 年 8 月までに設置する。

(2) 選挙公示を平成 28 年 9 月までに行う。

(3) 各都道府県細胞検査士会より選出された選挙人による幹事の選出を平成 28 年 10 月に実施する。

(4) 新たに選出された幹事の中より選挙人による会長および副会長の選出を平成 29 年 2 月までに実施する。ただし、事情により選挙管理委員会は実施期日を変更することがある。

2. 選挙管理委員会と開票立会人

【選挙管理委員会の設置】

役員選任に関する細則第 8 条により、選挙管理委員会を設置する。

【選挙管理委員会の位置付け】

選挙管理委員会は、委員会に関する細則に定める委員会とは異なる委員会として位置付ける。

【選挙管理委員会の構成と任期】

選挙管理委員会は、委員長 1 名、および若干名の委員で構成し、平成 29 年定時総会までの任期で会長が委嘱する。

【選挙管理委員会の任務】

選挙管理委員会は、次のことを行う。

- (1) 各都道府県細胞検査士会における選挙人の割り当て数の決定と選挙人名簿の作成
- (2) 被選挙人の募集・資格審査と被選挙人名簿の作成
- (3) 選挙日時・開票方法の細目の決定および公示
- (4) 開票立会人の指名
- (5) 投票用紙の配布・回収・保管および開票・集計作業
- (6) 投票資格の確認および投票の有効・無効の審査
- (7) 選挙結果の発表と異議の確認
- (8) その他、選挙の円滑な実施に必要な実務

【開票作業】

選挙管理委員会は、開票立会人を指名し、必要に応じて開票作業の補助員を置くことができる。

【開票立会人】

選挙管理委員会は、開票立会人を会員から公募することができる。開票立会人は、投票用紙の確認、開票作業の公正な実施の確認、無効票の審査結果の承認、開票結果の確認・承認を行い、監査報告書を作成する。

3. 幹事の選出方法

【選出定数】

被選挙人（候補者）の中より約 30 から 40 名を選出幹事として選出する。（ただし、この中より 3 名は会長、副会長となる）

【選挙人資格】

次のAおよびBを併せた約 250 名を選挙人（投票権者）とする。

(A) 各都道府県細胞検査士会基礎選挙権

都道府県細胞検査士会代表者委員会より選挙管理委員会に報告のあった平成 28 年 6 月 1 日時点の都道府県細胞検査士会代表者を選挙人として登録する。

(B) 会員数比例選挙権

各都道府県細胞検査士会代表者より申告された平成 28 年 6 月 1 日時点での会員数にもとづき、会員約 30 から 40 名に 1 人の割合で計約 200 名の選挙人を割り当て、各都道府県細胞検査士会代表者に通知する（ただし、会員数 70 名未満は一律 2 人とする）。都道府県細胞検査士会代表者は、規定数の選挙人を選出し、選挙管理委員会の指定する方法によって選挙人登録をすることができる。

【被選挙人資格】

被選挙人（候補者）は、選挙管理委員会の定める方法により各都道府県細胞検査士会より推薦を受けた者、または立候補を届け出た者のうち、選挙管理委員会で審査し、次の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 当会会員であり、本法人正会員または選出後正会員となる意思を有すること。
- (2) いずれかの都道府県細胞検査士会に所属し、かつ会費滞納のないこと
- (3) 役員を解任されるなどの懲戒処分を過去に受けたことがないこと。
- (4) 役員選任に関する細則に反しないこと。
- (5) 選挙管理委員会構成員ではないこと。

【選挙期間】

幹事の選挙期間は、平成 28 年 9 月から 11 月までの間で、約 10 日間を投票期間として選挙管理委員会が決定する。

【選挙方法】

選挙は、選挙管理委員会の指定する候補者 7 名連記式の投票用紙による郵便投票で行う。投票用紙の送付先、開票場所などの細目については選挙管理委員会が決定する。

【無効票】

次に該当する投票は無効とする。

- (1) 被選挙人以外の者の氏名を記載したもの
- (2) 記載された被選挙人名を判別または特定できないもの
- (3) その他、選挙管理委員会の指定する方法に従わないもの

【当選者】

同数得票者を含め得票数の多い者から上位約 30 から 40 名を幹事当選者とする。

【選挙結果の公示】

当選者確定後、細胞検査士会ホームページ（以下、「HP」）および細胞検査士会報にて幹事当選者の氏名を選挙管理委員長名で公示する。また、平成 28 年秋の役員会にて当選者の氏名を報告する。選挙結果に対する異議の申し立ては、当選者の発表後約 5 日の間に選挙管理委員長宛の文書で受付け、その対応は選挙管理委員会決定する。

4. 会長および副会長の選出方法

【選出定数】

候補者の中より会長 1 名および副会長 2 名をそれぞれについて選出する。

【選挙人資格】

選挙人は、先行する幹事選挙の選挙人および新たに選出された幹事とする。ただし、重複は認めない。

【被選挙人資格】

被選挙人（候補者）は、新たに選出された幹事の中より立候補した者または推薦された者とし、立候補の方法は選挙管理委員会が決定する。ただし、会長と副会長の両方の候補者となることはできない。また、それぞれの立候補者数が定数を超えない場合は、新たに選出された幹事のすべてを候補者とする。

【被選挙人資格】

被選挙人（候補者）は新たに選出された幹事の中より、選挙管理委員会が決定する方法で立候補した者とするが、会長と副会長の双方同時に立候補することはできない。会長立候補者がいない場合は、新たに選出された幹事のすべてを候補者として会長及び副会長を選出する。会長立候補者が 1 名の場合、会長立候補者を無投票当選とする。副会長立候補者がいない場合は、会長立候補者を除く新たに選出された幹事を候補者として副会長を選出する。副会長立候補者が 1 名の場合、副会長立候補者を無投票当選とし、1 名の副会長については会長及び副会長立候補者を除く新たに選出された幹事を候補者とする。副会長立候補者が 2 名の場合、副会長立候補者を無投票当選とする。

【選挙期間】

会長および副会長選挙は平成 29 年 2 月までに行い、具体的な日時は選挙管理委員会が決定する。

【選挙方法】

会長および副会長選挙ともに、選挙管理委員会の指定する投票用紙にそれぞれの定数名の候補者氏名を記載し、同時に郵便投票で行う。その他の細目については選挙管理委員会が決定する。

【無効票】

次に該当する投票は無効とする。

- (1) 被選挙人以外の者の氏名を記載したもの
- (2) 記載された被選挙人名を判別または特定できないもの。
- (3) その他、選挙管理委員会の指定する方法に従わないもの。

【当選者】

次の方法により当選者を決める。

- (1) 会長選挙は、最高得票者 1 名を当選者とする。
- (2) 副会長選挙は、得票数の上位 2 名を当選者とする。

同数得票により当選者を確定できなかった場合は、これらの者を候補者として引き続き決戦投票を行い、得票数の多い者をそれぞれの当選者とする。総得票数が選挙人総数の 2/3 に満たない場合には、後日あらためて再選挙を実施する。

【選挙結果の公示】

当選者確定後、選挙管理委員長名で、当選者の氏名および得票数を細胞検査士会 HP および細胞検査士会報にて公示する。また、当選者には選挙管理委員長名で当選証書を発行する。選挙結果に対する異議の申し立ては、当選者の発表後約 5 日の間に選挙管理委員長宛の文書で受付け、その対応は選挙管理委員会で決定する。

平成 28 年度渉外委員会事業報告

1. 子宮の日の活動：2016 Love49 プロジェクト

今回は 47 都道府県（100.0%）が参加致しました。ご協力ありがとうございました。

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、山形県、新潟県、長野県、茨城県
群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、栃木県、山梨県、富山県、石川県、福井県
愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、大阪府、和歌山県、京都府
広島県、山口県、鳥取県、岡山県、島根県、愛媛県、徳島県、高知県、香川県、福岡県
佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、長崎県、沖縄県

今回は細胞検査士会から提供するグッズとしてポケットティッシュを 5 万 5 千個作成し、全国の都道府県へ配送しました。

2. 平成 27 年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会活動と育成・養成活動）

平成 27 年度細胞検査士会活動調査は、【啓発・社会】と【育成・養成】に分けて実施しました。（調査期間：4 月から 10 月）（回答率 98%）

本調査にご協力頂きました都道府県代表者の方々にお礼申し上げます。

○啓発・社会活動の報告（渉外委員会添付資料 1）

2015 Love49 キャンペーン実施都道府県数：42 都道府県（89.0%）

総イベント数：96 イベント

参加者数：約 4,676 名（細胞検査士 1,245 名、臨床検査技師 285 名、医師 51 名、
その他「ピンクリボンキャンペーンなど」2,300 名）

○育成・養成活動の報告

開催数：127（複数開催した都道府県あり）

参加者数：約 3,605 名（細胞検査士 1,816 名、臨床検査技師 1,655 名、医師 103 名、
その他 31 名）

3. 子宮の日全国アクション 2016 報告会

第 57 回日本臨床細胞学会総会（横浜：2016 年 5 月 28 日（土）9：00～10：30）において 2016 LOVE49 報告会を実施し、細胞検査士と専門医から 5 演題を報告して頂きました。

座長：河原明彦、小山芳徳

演者：小林幸弘（渉外委員会）、早田篤子（千葉県） 桜井友子（新潟県）

中川記念ちか子女性クリニック 岡村智佳子 先生

今枝義博（子宮頸がん検診委員会）

第 58 回日本臨床細胞学会総会（大阪）においても 2017 LOVE49 報告会の準備を行っています。多くの方のご来場をお待ちしております。

4. 第 57 回日本臨床細胞学会総会および第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会（5 月、11 月）におけるパネル展示

子宮頸がん検診委員会と共同で LOVE49 キャンペーンのパネル展示を行いました。秋期大会でも同様にパネル展示を行っています。

第 57 回日本臨床細胞学会総会担当者：小山委員，廣井委員

第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会担当者：河原委員

5. 細胞検査士パンフレット「がん診断の担い手細胞検査士第 3 版」の配布

4-10 月末までに，4 施設に 2,800 部数を郵送しましたが，昨年と同様に発送部数が少ないです。印刷部数と郵送費がある限り随時継続していきます。

6. 第 12 回がん患者大集会の会場協力（2016.10.9）

メイン会場（秋田県）：秋田県児童会館 けやきシアター

協力者：石井 明，石井孝子，阿部 諒

サブ会場（東京都）：東京医科歯科大学医学部 3 号館 3 階 医学科講義室 2

協力者：三宅真司，稲垣敦史，忽滑谷昌平，澁木康雄，近藤 円

阿部 仁，鈴木美那子，吉田志緒子，金室俊子，長尾 緑

サテライト会場（兵庫県）：兵庫県民会館 303 号室

協力者：上岡英樹，高田直樹，山下展弘

ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

*がん患者大集会における協力体制の手順

- 1) NPO 法人がん患者団体支援機構実行委員会は細胞検査士会へ後援依頼の文章を郵送する。
- 2) 細胞検査士会会長が NPO 法人がん患者団体支援機構へ後援名義使用の承諾書を郵送（FAX）する。
- 3) NPO 法人がん患者団体支援機構実行委員会は細胞検査士会会長へ協力の要請を依頼する。
- 4) 細胞検査士会会長は，大会が開催される都道府県代表者へ協力を要請し，渉外委員会へ支持する。
- 5) 大会が開催される都道府県代表者は NPO 法人がん患者団体支援機構実行委員会へ連絡し大会の準備を行う。
- 6) 渉外委員会は大会が開催される都道府県代表者と共に大会内容の把握を行う。

7. 2017 Love49 プロジェクトの準備（2016.12-2017.3）

1) 2017 Love49 キャンペーンの趣意書を伊藤会長へ要望し，庶務委員会から発行して頂いた。

2) 2017 年 4 月 9 日前後に，特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会と共に，子宮頸がん検診啓発活動を行うための準備を行っています。

3) 特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会は，2017Love49 全国アクションに関する後援を厚生労働省に申請予定とお聞きしています。

4) 2017 Love49 参加不参加および担当者の調査は 12 月に行う予定です。

5) 昨年と同様に 2017 Love49 キャンペーンで配布する細胞検査士会オリジナルポケットティッシュ「受けましょう，子宮頸がん検診」を作成予定です。

6) キティーちゃんカードの提供は，現時点では保留になっています。

【資料 5】

[渉外委員会添付資料 1]

平成 27 年度細胞検査士会公益広報活動調査結果 啓発・社会活動の内訳

イベント数：96 イベント

子宮の日 LOVE49 キャンペーン活動会場：60（県内同時開催含む）（62.5%， 60/96）

その他「ピンクリボンキャンペーンなど」：36（37.5%， 36/96）

1. 動員人数とその内訳

約 4,676 人（細胞検査士 1,245 名，臨床検査技師 285 名，医師 51 名，その他 2,300 名）

	LOVE49 キャンペーン	その他の事業
動員人数の内訳	1,809	2,867
細胞検査士	55.9%(1,011/1,809)	9%(259/2,867)
医師	1.7%(31/1,809)	0.7%(20/2,867)
その他	42.3%(767/1,809)	90.3%(2,588/2,867)

2. 子宮の日 LOVE49 キャンペーン等の啓発・社会活動を行った場所（47；県内同時開催含む）

	LOVE49 キャンペーン	その他の事業
ショッピングセンター	62.5%(45/72)	13.9%(5/36)
公共施設	4.1%(3/72)	38.9%(14/36)
駅前	14%(10/72)	5.6%(2/36)
その他	19.4%(14/72)	41.6%(15/36)

3. 子宮の日 LOVE49 キャンペーン等の啓発・社会活動の内容

（47；県内同時開催含む，重複回答あり）

	LOVE49 キャンペーン	その他の事業
資料配付(リーフレットなど)	57.8%(52/90)	27.1%(19/70)
アンケート調査	22.2%(20/90)	12.9%(9/70)
パネル展示	7.8%(7/90)	20%(14/70)
講演会や討論会	4.4%(4/90)	14.3%(10/70)
顕微鏡を用いた説明	6.7%(6/90)	15.7%(11/70)
その他	1.1%(1/90)	10%(7/70)

平成 27 年度細胞検査士会公益広報活動調査結果 育成・養成活動の内訳

開催数：127 回（複数開催した都道府県あり）

参加・受講者：約 3,605 名

細胞検査士：1,816 名

医師：103 名

臨床検査技師：1,655 名

その他：31 名

活動名称

細胞検査士試験対策，細胞診初心者講習会，がん検診従事者資質向上事業など

主催団体

都道府県細胞検査士会 59.8%（76/127），日本臨床細胞学会（旧各支部）25.2%（32/127），その他 15%（19/127）

内容（重複回答あり）

1.講義のみ：45 件，2.鏡検実習のみ：25 件，3.講義と実習の両方：48 件，4.その他（実技など）：18 件

【資料 6】

情報委員会

平成 28 年度事業計画の中期報告

Internet Cytology HP (I ntercyto.com)

CMS システム構築について

各領域における自己学習ページの構成

- 患者情報
 - 年齢
 - 臨床所見
 - 検体
 - 染色名
- 細胞像 スライドショー表
- 設問
- (回答・解説)

Internet Cytology
細胞検査士会ホームページ

検索 細胞検査士会トップページへ

ホーム	甲状腺	乳 腺	呼吸器	消化器	体腔液	泌尿器
非上皮性	脳・神経系	耳下腺	リンパ節	子宮頸部	子宮体部	卵 巣

what's new
2016年11月5日 [Hello world!](#)

Internet cytologyへようこそ

- [サイトの目的について](#)
- [運用方法](#)
- [使用方法](#)
- [細胞の見方](#)
- [基本編](#)
- [応用編](#)
- [設問と回答](#)
- [解説](#)
- [診断定義](#)

link

- [Acta cytol](#)
- [PubMed](#)
- [CiNii](#)
- [JAMT](#)
- [JSCC](#)
- [J- ATAGE](#)

count 127232
date 2016-11-12

症例画像掲載のお願い

Internet Cytology

細胞検査士会ホームページ

細胞検査士会
トップページ

ホーム 脳脊髄 甲状腺 乳腺 呼吸器 消化器 体腔液 泌尿器 非上皮性

乳腺

乳腺 1

年齢：30代後半、女性

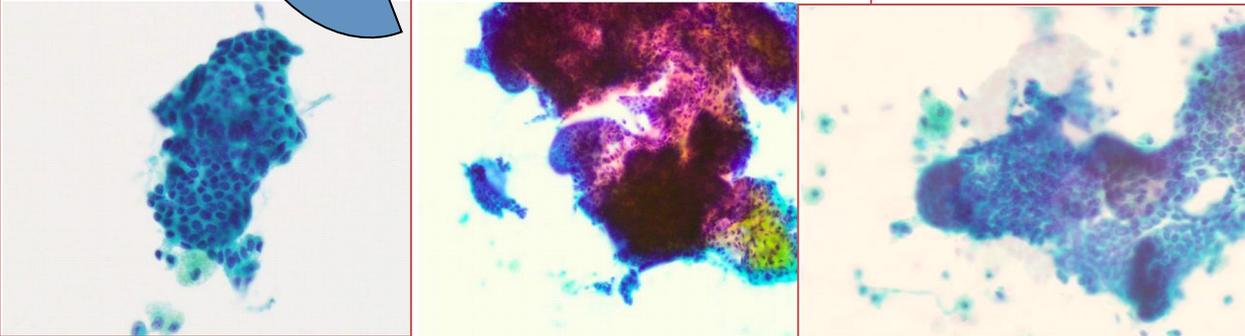
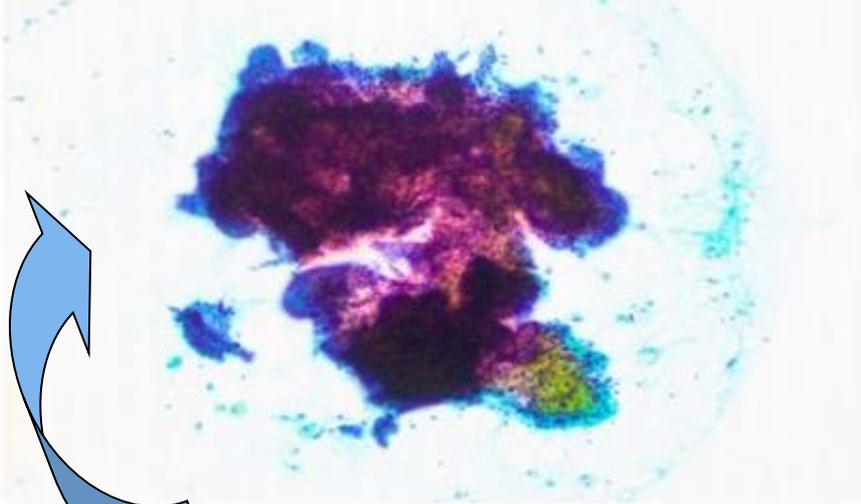
臨床所見

マンモ検診で、右乳頭部直下に集積を認めた。

超音波エコー（US）で乳頭下に3mm大の腫瘤を認めた。

検体

穿刺吸引細胞診、パピニコロウ染色標本



乳腺

乳腺 1

年齢：30代後半、女性

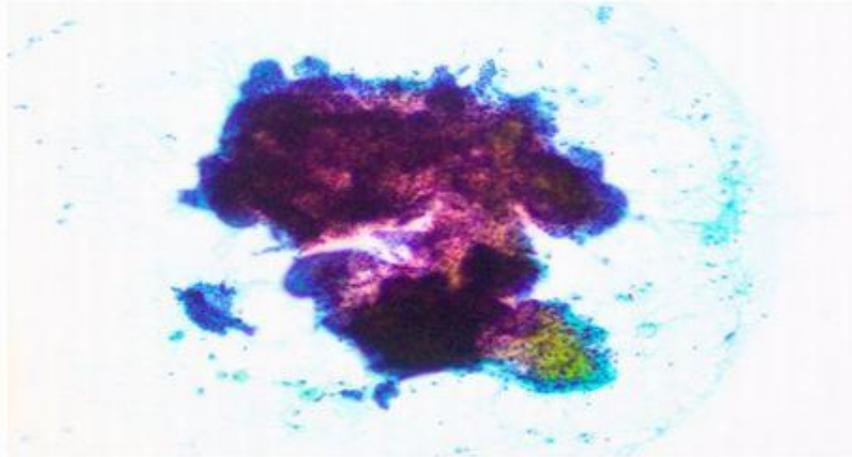
臨床所見

マンモ検診で、右乳頭部直下に集積を認めた。

超音波エコー（US）で乳頭下に3mm大の腫瘤を認めた。

検体

穿刺吸引細胞診、パapanicolaou染色標本



設問と推定病変

回答選択肢

- 乳管過形成
- 線維腺腫
- 非浸潤性乳管癌
- 乳管内乳頭腫
- 管状癌

投票では、

スパム対策・
スパム防止認証画像（キャプチャ認証）
を設定しています



Enter the code

回答する

設問と推定病変



解答 選択肢 ○:

【正解】乳管内乳頭腫 (intraductal papilloma) <

組織的特徴:

組織学的に血管性間質を軸とする良性の乳頭状病変。

乳管上皮細胞の増生と筋上皮細胞の二相性が見られ、一部にアポクリン化生を伴います。

細胞的特徴:

背景に泡沫細胞を認め、大小の密な上皮増生を示す集塊が出現する。

梗塞がある場合は、壊死を認める。細胞の結合性が強く、集塊辺縁は直線的です。

焦点深度を変えると筋上皮を認める。核は、類円形から楕円形で均一です。

参考サイト:

[実践的細胞診断ワークショップ1 乳腺細胞診断ことはじめ](#) (ハンドアウト)

管理と更新

- コンテンツの内容と制作
- 運用ルール
- 基本データの収集と依頼
- サイトの管理と運用

公開予定

- 平成 29 年 2 月頃を予定

【資料 7】

あり方委員会のアンケート報告

平成 28 年 5 月 6 日以降のアンケート数 (NO2)

都道府県名	人数
北海道	45
青森	1
岩手	1
宮城	1
秋田	1
山形	1
福島	16
東京	67
神奈川	21
埼玉	8
千葉	3
茨城	8
栃木	22
群馬	40
山梨	6
新潟	17
長野	28
富山	1
石川	8
福井	15
愛知	42
岐阜	0
静岡	21
三重	1
大阪	12
兵庫	7
京都	8
滋賀	1
奈良	13
和歌山	2
鳥取	8
島根	2
岡山	7
広島	18
山口	12
徳島	6
香川	0
愛媛	0
高知	16
福岡	7
佐賀	0
長崎	0
熊本	0
大分	4
宮崎	3
鹿児島	2
沖縄	0

平成 28 年 4 月 26 日～5 月 5 日までのアンケート数 (NO1)

都道府県名	人数
北海道	8
青森	1
岩手	0
宮城	0
秋田	1
山形	1
福島	2
東京	2
神奈川	7
埼玉	3
千葉	1
茨城	2
栃木	0
群馬	6
山梨	0
新潟	2
長野	0
富山	0
石川	4
福井	0
愛知	0
岐阜	0
静岡	0
三重	0
大阪	4
兵庫	4
京都	1

滋賀	1
奈良	0
和歌山	3
鳥取	2
島根	1
岡山	5
広島	0
山口	1
徳島	0
香川	0
愛媛	0
高知	1
福岡	2
佐賀	0
長崎	0
熊本	1
大分	0
宮崎	2
鹿児島	7
沖縄	0

今回のアンケートは途中で一部変更を行ったため、NO1 と NO2 を合わせた合計が回答数になります。平成 28 年 10 月 28 日現在 7.8%の回答率であり、来年の細胞検査士会報にアンケート結果を掲載する予定ですが、この数字で公表してもデータの信憑性に問題があると思い、回答数少しでも増加させたく思い、県別回答数を公表しました。各県の代表の方は会員の周知をお願い致します。

第 1 回 50 周年記念事業会役員会議 議事録

日時：平成 28 年 8 月 13 日 13 時 00 分～17 時 00 分

場所：公益社団法人日本臨床細胞学会事務局 B2F

【50 周年事業会出席者】

出席：[会長] 伊藤 仁 [副会長 2] 小松 京子, 片山 博徳 [会員] 平田 哲士, 阿部 仁, 仲村 武, 深澤 政勝, 阿部 英二, 古田 則行, 南部 雅美, 三宅 真司, 石井 保吉, (敬称略)

議事録：仲村 武

1. 検査士展

1) 日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)～19 日 (日) 午前 10 時～午後 4 時 (19 日は午前のみ)

会場：三越デパート ライオン広場 (会場は契約済み)

2) 同時期ふくこいアジア祭りがあり、福岡市と協力する。(福岡市にどのような内容をやってほしいか確認する)

3) ラブエフエム国際放送株式会社に趣意書を送る

4) 顕微鏡：福岡大学から借用できるか確認する

5) プロモーション(PR)ビデオ 5 パターン作製する

6) バーチャルビデオで癌細胞を見せる

7) フラッグを立てて癌細胞をゲーム感覚で探してもらう

8) 口腔を擦過してディップクイックで染めてもらう

9) パネル展示 (細胞検査士とは、癌細胞とは、HPV とはなど)、リーフレット配布する。

10) PR ビデオに載せる写真を都道府県代表者・養成施設等に募集する

11) PR ビデオを検査士会 HP にアップし、検査士会会報・都道府県代表者に掲載・周知する。

12) 式典部委員 8 名では不十分であり、実地委員を福岡の細胞検査士に依頼する

13) 地委員に日当を払えるか確認する (学生をお願いしてもいいのではないか?)

14) 済生会福岡病院の倉庫を借用する予定。南部さんが済生会福岡病院の検査士に委員委嘱の打診後、承諾が取れ次第委嘱状を送付する。

2. 市民公開講座

1) 日本臨床細胞学会とコラボ可能

2) オーガナイザーが未定な為、詳細未定

3) 宮島日本臨床衛生検査技師会会長に講演を依頼してはどうか

3. 記念式典

1) 16 時開演

2) 会場：国際会議室 402 席 (阿部英交渉済み)

3) 式典・祝賀会は同一委員で行う

4) 来賓者・挨拶者は会長・副会長で選出する

5) 式典前のプログラム終了後から式典までの準備時間を確認する

- 6) 式典内容未定、12月までに企画する
- 7) 写真・ビデオ撮影班を編集と事業部で相談する
- 8) 記念式典・祝賀会式次第を一冊にして作製する
- 9) 広告料を出した企業の広告を式次第に載せる

4. 祝賀会

- 1) 終了は19時
- 2) 福岡空港、JR博多駅までのバスをチャーターする
- 3) 参加者は事前予約制とする
- 4) 会場サンパレスにクロークを設けてもらえるか確認する
- 5) 7月の会報に振込用紙を同封する
- 6) 功労賞受賞者も会費を徴収する
- 7) 会費は5000円を上限とし、予算をみながら決める
- 8) 祝賀会PRビデオを作成、都道府県代表者に配布、各都道府県細胞検査士会集会などでアピールする
- 9) パフォーマンス依頼（ふくこいアジア祭り優勝チームなど）

5. 予算案

- 1) 趣意書pdfファイル作成し、各委員へ配信する。原本必要な時は仲村へ連絡する
- 2) 趣意書全文に公益社団法人を入れる
- 3) 記念式典・祝賀会式次第を一冊にして作製し、広告料を募集する
- 4) 記念式典で広告の入った式次第を配布して良いか、加来大会長に伊藤会長が確認する
- 5) 広告料、賛助金の募集期間は平成29年8月31日までとする
- 6) 賛助金に免税措置があるのか、阿部経理委員長が確認する
- 7) 振込先は50周年記念事業準備金にする
- 8) 賛助金募集要項の問い合わせ先は阿部経理委員長とする
- 9) 広告料の依頼書、申込書は三宅委員長が作製する
- 10) 賛助金・広告料の募集を各企業に早めをお願いする
- 11) 都道府県代表者にも趣意書・賛助お願い・広告お願いを配信する
- 12) 賛助金一口5万円、広告料一口3万円とする

6. 記念誌

- 1) 上製本とCDを作製する
- 2) 上製本は有料とし、希望者を募る。CDは全会員に配布
- 3) 上製本代金に郵送料も含む
- 4) 目でみる30年の歩みに20年分追加して載せる
- 5) 関連企業30年のあゆみの見出しを趣意書に添付する
- 6) 賛助金二口以上（10万円）の企業には各企業の歩みの原稿を依頼する
- 7) 賛助金一口の企業は社名を載せる
- 8) 各都道府県の最近20年の歩みは1ページとし、次回都道府県代表者会議で原稿を依頼する
- 9) 編集委員に有田茂実、中島弘一を加える
- 10) 内容・構成については編集委員内検討する

7. 功労賞

- 1) 推薦人数は原則を守る
- 2) 推薦基準（30・40周年受賞者、細胞学会賞受賞者を除くなど）を決め、募集要項を作製する
- 3) 会員より選出する
- 4) 各都道府県代表者に推薦を依頼する

8. その他

- 1) 各事業部の予算案を10月末までに阿部事務局長に提出する
- 2) 各事業部の予算案をもとに阿部会計部長、50周年記念事業予算案を作成する
- 3) 式典の案内などのスタッフを福岡県の細胞検査士で手配する
- 4) 式典・祝賀会などのマニュアルを作製し、各委員長に配信する
- 5) 委嘱状は各委員長が作製し、会長が確認後、仲村が送付する
- 6) 次回50周年記念事業会会議を秋の役員会前に開催予定（丸田さんに会場確保確認する）

【資料 9】

賛助・広告受領企業 1110

50周年記念事業賛助・広告企業・団体（2016.11.5現在）		賛助金	広告料	版下
1	有限会社ミックサイエンス	50,000		
2	ムトウ株式会社		30,000	
3	イムノサイエンス株式会社	50,000	30,000	
4	株式会社 千葉メディカル	100,000		
5	サクラファインテック株式会社	200,000	30,000	
6	武藤化学薬品株式会社	500,000	30,000	受領
7	大日本精機	50,000		
8	イムノサイエンス株式会社	50,000		
9	ミックスサイエンス	50,000		
10	日立ハイテクノロジーズ		30,000	受領
11	アテスト		30,000	受領
12	匿名希望 企業		30,000	無し
	合計	1,050,000	210,000	1,260,000

編集部 「細胞検査士会創立 50 周年記念誌」作成案

- * 記念誌の内容、構成について 担当者を割り振り検討（○リーダー）
- * 基本的には 30 周年記念誌を踏襲し、20 年分を追加する形とする方針
- * 総ページ数は 325 ページ程度（最大でも 400 ページ以内）となる予定

第 1 章 細胞検査士会創立 50 周年を記念して（○石井、深澤）（7 ページ）

1. 執筆者は下記の 7 名を予定
 - ・国際細胞学会理事長 長村義之先生
 - ・日本臨床細胞学会理事長 青木大輔先生
 - ・日本臨床細胞学会 専門医会会長 土屋眞一先生
 - ・日本臨床検査医学会理事長 矢富裕先生
 - ・日本病理学会会長 深山正久先生
 - ・日本臨床検査技師会会長（参議院議員）宮島喜文先生
 - ・Catherine M. Keebler, Sc. D. (hon), FIAC（肩書は 30 周年記念誌を参考とした）
2. 内容は細胞検査士会創立 50 周年に対するご祝辞を依頼するが、詳細は各先生にお任せする。
3. 1 ページ以内（文字数として約 1,600 字）とする。
4. 1、2 点の写真は希望により可とする。
5. タイトルは細胞検査士会創立 50 周年記念に関連するものとし、ご自由に決めていただく。
6. 顔写真を掲載させていただく。

第 2 章 目で見る 50 年の歩み（○中島、川崎）（60 ページ）

- ・30 周年分をスキャンしてそのまま使用し、20 年分を追加する。

第 3 章 文で綴る 50 年の歩み（○加藤、藤田、郡）（10 ページ）

技師からの執筆（1 人 1 ページ）

1. 長く細胞診に貢献し、その内容を偏り無くきちんと書ける人に依頼（10 名以内を予定）。
2. 執筆者は、全国の主要メンバーからご推薦いただく予定。

第 4 章 細胞検査士会 50 年の歴史と将来の課題（○加藤、藤田、郡）（7 ページ）

1. 内容は細胞検査士会 50 年に関することとし、具体的内容な執筆者にお任せする（フリー）。
2. 1 人 1 ページとする。
3. 歴代検査士会会長（下記）より執筆可能な方をお願いする（全員でなくても良い）。

平田 守男

池田 栄雄

武智 昭和

小林 忠男

畠山 重春

石井 保吉

伊藤 仁

第5章 私と細胞検査士の出会い（〇加藤、藤田、郡）（20ページ）

医師からの執筆（1人1ページ）

1. 50年のうち後半20年(1998-2017)の歴代会長に依頼。
 - ・計40名になるが書いていただける先生となると(10名以内になるか・・・)
 - ・学会を共に担当された細胞検査士から願います・・・
2. 学会長以外の医師に依頼。
 - ・長く細胞診を行い、細胞診断学に貢献のあった人(10名以内)。
 - ・専門臓器別に1名程度願います。
 - ・全国の技師より推薦して頂く。
 - ・内容はお任せする

第6章 各都道府県50年の歩み（〇深澤、石井）（94ページ）

1. 各都道府県における50年史を基本とするが、50年前のことを知る人はほとんどいないので、最近の20年を中心にご執筆いただいても良い。詳細は各都道府県にお任せするが、研修会や「子宮の日」等の活動記録を盛り込んで良い。
2. 都道府県ごとに写真込み（白黒、カラー）で2ページ以内（文字数にして約4000文字以内）とする。
3. タイトルは、「〇〇県における細胞検査士会50年の歩み」、「〇〇県の細胞診50年の軌跡」などとし、都道府県名が分かるタイトルとする。また、サブタイトルを入れることも可とする。
4. タイトルの下に執筆者の所属と氏名を記載する。執筆者は必ずしも都道府県代表者でなくても良い（昔をよく知る元検査士会会長など）。

第7章 教育活動の歴史（〇郡、有田）（最大35ページ）

1. 総論 「教育活動の年表」作成（養成所の認可、養成所の変更など）
2. 各論 各細胞検査士養成機関からの寄稿
 - がん研有明病院[古田則行先生・杉山先生]
 - 大阪成人病センター[竹中先生]
 - 東京都がん検診センター(多摩がん検診センター)[山村先生張堂先生・庄野先生]
 - 杏林大学保健学部[安井英明先生・郡]
 - 藤田保健衛生大学[金子千之先生]
 - 北里大学医療衛生学部[蔵本先生・大野英治先生・服部学先生・吉田玲子先生]
 - 山口大学医学部[岩田先生・尾野緑先生]
 - 群馬大学医学部[福田利夫先生・吉田朋美先生]
 - 加計学園細胞病理学研究所(倉敷芸術科学大学)[三宅康之先生]
 - 神戸常盤大学保健科学部[布引治先生]
 - 弘前大学医学部[渡邊純先生]

*大阪大学大学院医学系研究科 細胞検査高度診断コース[南雲サチ子先生]、東京都がん検診センターの公開講座の位置づけについては、要検討とする。

 - ・創立時のエピソード、歴代主任リストを掲載、写真を掲載などを盛り込む。
3. 週間コース（細胞検査士養成講習会 二週間コースなど）の原稿
4. その他、日本臨床衛生検査技師会主催の講習会、都道府県の細胞検査士会主催の講習会、地域主体の講習会などの取扱いについては、今後検討していく。

第8章 関連企業 50年の歩み（〇川崎、深澤）（5企業として7ページ）

- ・賛助金二〇以上 「関連企業とのあゆみ」というテーマでご寄稿いただく（1企業1ページ程度）
- ・賛助金一〇 企業名のみ掲載

第9章 創立50周年記念式典（〇有田、川崎）（15ページ程度）

1. 細胞検査士会のシンボルマーク等の説明
2. 式次第
3. 創立50周年記念事業各委員長から記念式典を終えた感想文

（それぞれの立場からの感想と式典中の写真）

- ①50周年記念事業実行委員会；三宅 真司委員長
- ②50周年記念事業実行委員会；阿部 英二事務局長（公開講座の様子の写真など）
- ③50周年記念事業実行委員会；仲村 武庶務部長
- ④50周年記念事業実行委員会；阿部 仁会計部長
- ⑤50周年記念事業実行委員会；平田 哲士式典部委員長（記念式典の様子の写真など）
- ⑥50周年記念事業実行委員会；深澤 政勝編集部長
- ⑦50周年記念事業実行委員会；古田 則行学術部長
- ⑧50周年記念事業実行委員会；南部 雅美事業部長

（業務の詳細が分からない為、上記①～⑧中で式典にはあまりかかわらない方は削除可能（今後検討する）。

上記①～⑧中の検査展担当者に「検査展について」、懇親会担当者に「懇親会について」

- ⑨50周年記念事業表彰選考委員会；大田 喜孝委員長

（功労賞の授賞式受賞者全員の集合写真とともにお名前と所属の一覧を掲載）

4. 功労賞受賞者1名に「功労賞受賞者を代表して（仮）」として受章した感想などをご寄稿いただく。

第10章 資料集（〇藤田、中島、加藤）（70ページ）

1. 論文発表などのデータは30周年分をスキャンしてそのまま使用、ここに20年分を追加する案を進める。
2. 過去に製作し、学会で展示した細胞検査士会のポスターを手直しして、資料として10章に含める。（ポスターそのままの形で載せると文字が読めない可能性があり、何らかの手直しを必要とする）
3. 年表形式で、これまでの歩みがわかる資料を準備する。
4. 細胞検査士会会報の歩みを、実際の紙面なども交えて掲載。
5. 基本的には、「読む資料」というよりも「見る資料」のスタンスを進める。

* 記念誌作成費用 *

- ・50周年記念誌作成代（別紙見積書参照） 5,227,200円（税込金額）
- ・記念誌送料（記念誌1,000部） レターパックライト使用時 360円×1,000部=360,000円
- ・記念誌送料（DVD8,000枚） ゆうメール使用時 215円×8,000枚=1,720,000円

合計金額 7,307,200円

見積書

細胞検査士50周年記念誌

御中

株式会社三和
〒220-0051
横浜市西区中央2-28-6
TEL 045-620-3261
FAX 045-620-3262

下記の通りお見積り申し上げます

担当者印

合計金額

¥4,840,000

品名	数量	単位	単価	金額	摘要	備考
記念誌	1,000	冊	3,160.00	¥3,160,000		
A4サイズ 400頁(カラー400p スキャニング一部あり)						
マットコート菊 48.5k 上製本かがり						
表紙布クロス 角背 箔押し 箱付						
組版・製版代	1	頁	1,400.00			
用紙・印刷	1	冊	1,500.00			
上製本・ケース代	1	冊	1,100.00			
※スキャニングの場合	1	頁	400.00			
※スキャニングで使用した上製本解体復元	1	冊	5,000.00			確定価格ではありません
DVD ジャケット 包装込	8,000	枚	210.00	¥1,680,000		
小計						
消費税等						
合計						

※印は1冊単価に含んでおりません

消費税別途

運送料別途(弊社で運送できる場合は頂きません)

細胞検査士会創立 50 周年記念事業

ご賛助・広告掲載ご協力のお願い

平素は当会の活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 29 年、細胞検査士会は創立 50 周年を迎えることとなりました。当会では創立 50 周年記念事業として、平成 29 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）に福岡において開催される第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会時に、細胞検査士会創立 50 周年記念式典、祝賀会、「細胞診と細胞検査士」展、記念誌発刊、記念市民公開フォーラム（秋期大会と共催）を開催することといたしました。

医学・医療も急速な進歩を遂げ、病変を診断するための様々な技術やがんの分子標的治療など、細胞診を取り巻く環境も急速な著しい変化を遂げております。しかしながら、子宮頸がん検診において顕著なように、細胞診は現在においてもまだなお検診や診断の大きな柱となっていることに変わりはありません。それどころか、増加を続ける乳がんの診断過程における細胞診の重要性はむしろきわめて高く、細胞検査士の担う役割はますます重要となつてきているとさえ言えます。

このような時代の中で、細胞検査士会は決意も新たに将来に向かってさらに邁進する所存です。50 年というこの大きな区切りの年に、我々はこれまでの細胞検査士の足跡を顧み、そして未来の細胞診のことを考えて、5 年前より 50 周年記念事業準備委員会を立ち上げ、鋭意準備に取り組んでまいりました。

つきましては、これまで共に歩んできた細胞診断学および検査医学に関わりのある企業の皆様方と一緒に祝いたく、本事業へのご支援をお願いする次第です。なお、二口以上ご賛助いただいた場合、記念誌に「関連企業のあゆみ」というテーマで寄稿いただきます（一口の場合は企業名のみを掲載させていただきます）。また、同時に記念式典・祝賀会のプログラムの広告を募集いたします。諸事厳しい折甚だ恐縮ではございますが、本記念事業の趣意ならびに諸事情をご賢察いただき、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 8 月吉日

公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会 会長

細胞検査士会創立 50 周年記念事業会 会長

伊藤



細胞検査士会創立 50 周年記念事業

賛助金趣意書

公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会 会長

細胞検査士会創立 50 周年記念事業会 会長

伊藤 仁

(東海大学医学部付属病院病理検査技術科長)

細胞検査士会創立 50 周年記念事業

ご賛助・広告掲載ご協力のお願い

平素は当会の活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 29 年、細胞検査士会は創立 50 周年を迎えることとなりました。当会では創立 50 周年記念事業として、平成 29 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）に福岡において開催される第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会時に、細胞検査士会創立 50 周年記念式典、祝賀会、「細胞診と細胞検査士」展、記念誌発刊、記念市民公開フォーラム（秋期大会と共催）を開催することといたしました。

医学・医療も急速な進歩を遂げ、病変を診断するための様々な技術やがんの分子標的治療など、細胞診を取り巻く環境も急速な著しい変化を遂げております。しかしながら、子宮頸がん検診において顕著なように、細胞診は現在においてもまだなお検診や診断の大きな柱となっていることに変わりはありません。それどころか、増加を続ける乳がんの診断過程における細胞診の重要性はむしろきわめて高く、細胞検査士の担う役割はますます重要となってきたとさえ言えます。

このような時代の中で、細胞検査士会は決意も新たに将来に向かってさらに邁進する所存です。50 年というこの大きな区切りの年に、我々はこれまでの細胞検査士の足跡を顧み、そして未来の細胞診のことを考えて、5 年前より 50 周年記念事業準備委員会を立ち上げ、鋭意準備に取り組んでまいりました。

つきましては、これまで共に歩んできた細胞診断学および検査医学に関わりのある企業の皆様方と一緒に祝いたく、本事業へのご支援をお願いする次第です。なお、二口以上ご賛助いただいた場合、記念誌に「関連企業のあゆみ」というテーマで寄稿いただきます（一口の場合は企業名のみを掲載させていただきます）。また、同時に記念式典・祝賀会のプログラムの広告を募集いたします。諸事厳しい折甚だ恐縮ではございますが、本記念事業の趣意ならびに諸事情をご賢察いただき、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 8 月吉日

公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会 会長
細胞検査士会創立 50 周年記念事業会 会長
伊藤 仁

開 催 概 要

1. 名 称 細胞検査士会創立 50 周年記念事業
2. 主 催 公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会
3. 会 長 伊藤 仁
4. 目 的 細胞検査士会創立 50 周年というこれまでにない大きな節目の年に、細胞検査士会が自らの足跡を顧み、決意も新たに細胞診のさらなる進歩、発展について考え、がんについて多くの市民へ啓発する。
5. 内容・期日 「細胞診と細胞検査士」展（イベントスペース・ライオン広場）
（予定） 平成 29 年 11 月 18 日（土） 10:00～16:00
平成 29 年 11 月 19 日（日） 10:00～12:00
記念式典（国際会議場国際会議室）
平成 29 年 11 月 19 日（日） 16:00～17:00
祝賀会（福岡サンパレス）
平成 29 年 11 月 19 日（日） 17:30～19:30
記念市民公開フォーラム（福岡サンパレス）
平成 29 年 11 月 19 日（日）
6. 参加予定人数 日本全国の主要な細胞検査士約 500 名（予定）
7. 過去の開催実績 細胞検査士会創立 30 周年記念事業 1997 年 パシフィコ横浜
会長 武智 昭和
細胞検査士会創立 40 周年記念事業 2007 年 幕張メッセ
会長 都竹 正文
8. 細胞検査士会創立 50 周年記念事業構成員名簿（添付 1）
9. 収支予算案（添付 2）
10. 問合せ先 細胞検査士会創立 50 周年記念事業実行委員会
委員長 三宅真司
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
東京医科大学病院病理診断科
TEL : 03-5339-3724 e-mail: s-miyake@tokyo-med.ac.jp

細胞検査士会創立50周年記念事業 役員名簿		
委員会名	委員名	勤務先
50周年記念事業会		
会長	伊藤 仁 会長	東海大学医学部附属病院 病理検査技術科
副会長	片山 博徳 副会長	日本医科大学多摩永山病院 病理部
副会長	小松 京子 副会長	公益財団法人 がん研究会有明病院 臨床病理センター
会員	三宅 真司	東京医科大学病院 病理診断科
会員	阿部 英二	北九州市 保健福祉局 保健衛生部 保健予防課 検査係
会員	仲村 武	横浜南共済病院 病理診断科
会員	阿部 仁	慶應義塾大学医学部 病理学教室 病理診断部兼務
会員	平田 哲士	千葉細胞病理診断センター
会員	深澤 政勝	筑波学園病院 検査部
会員	古田 則行	公益財団法人がん研究会有明病院付設細胞検査士養成所、兼細胞診断部
会員	南部 雅美	熊本保健科学大学
会員	大田 喜孝	国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科
50周年記念事業表彰選考委員会		
委員長	大田 喜孝	国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科
副委員長	原田 仁稔	(財)慈山会医学研究所付属坪井病院 中央検査部
委員	小林 忠男	大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻招聘教授
委員	畠山 重春	(株)ヒッサンメディカルサポートセンター
委員	石井 保吉	(医)社団ところとからだの元氣プラザ 細胞病理診断科
委員	有田 茂実	千葉県がんセンター臨床病理部 病理検査科
委員	榎 保彦	佐賀県医師会成人病予防センター 臨床検査部
50周年記念事業実行委員会		
委員長	三宅 真司	東京医科大学病院 病理診断科
事務局長	阿部 英二	北九州市 保健福祉局 保健衛生部 保健予防課 検査係
庶務部長	仲村 武	横浜南共済病院 病理診断科
庶務部副部長	笹井 伸哉	国家公務員共済組合連合会立川病院 病理科
庶務委員	丸川 浩司	北海道大学病院 病理部
会計部長	阿部 仁	慶應義塾大学医学部 病理学教室 病理診断部兼務
会計副部長	矢野 恵子	大阪府済生会野江病院 病理診断科
委員	青木 裕志	順天堂大学医学部附属練馬病院 病理診断科
委員	小材 和浩	福岡赤十字病院 病理診断科
式典部委員長	平田 哲士	千葉細胞病理診断センター
副委員長	横山 俊朗	久留米大学病院
副委員長	松本 慎二	福岡大学病院 病理部
委員	川口 詳司	沼津市立病院 臨床検査科
委員	棚田 諭	大阪府立成人病センター 臨床検査科 病理細胞診
委員	寺戸 信芳	九州大学病院 病理診断科・病理部
委員	緒方 昌倫	公立学校共済組合九州中央病院 医務局臨床検査科
委員	松田 勝也	長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学研究分野
編集部長	深澤 政勝	筑波学園病院 検査部
副部長	加藤 拓	杏林大学病院
委員	藤田 勝	岡山大学医学部附属病院 病理部
委員	郡 秀一	杏林大学保健学部 細胞診断学研究室
委員	川崎 辰彦	国家公務員共済組合連合会佐世保共済病院 病理診断科
委員	石井 保吉	(医)社団ところとからだの元氣プラザ 細胞病理診断科
委員	中島 弘一	(医)社団ところとからだの元氣プラザ 細胞病理診断科
委員	有田 茂実	千葉県がんセンター臨床病理部 病理検査科
学術部長	古田 則行	公益財団法人がん研究会有明病院付設細胞検査士養成所、兼細胞診断部
学術副部長	羽原 利幸	公立学校共済組合中国中央病院 臨床検査科
委員	中村 厚志	市立札幌病院 検査部
委員	白波瀬 浩幸	京都大学医学部附属病院 病理診断科
委員	三浦 弘守	東北大学病院 病理部
委員	甲斐 俊一	大分県厚生連鶴見病院 病理診断科
委員	野口 裕史	富崎大学医学部附属病院 病理部
事業部長	南部 雅美	熊本保健科学大学
事業副部長	藤山 淳三	公益財団法人がん研究会有明病院 細胞診断部
委員	河原 明彦	学校法人 久留米大学 病院病理部
委員	浅見 英一	がん・感染症センター都立駒込病院 病理科
委員	今枝 義博	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 病理部
委員	石原 光浩	熊本大学医学部附属病院 病理部
委員	相知 優子	福岡大学病院 病理部
委員	龜山 広喜	熊本保健科学大学 衛生技術学科助手室
委員	佐藤 真介	済生会福岡総合病院病理診断科
細胞検査士会創立50周年記念事業監事	上野 喜三郎	株式会社東京セントラルパソロジーラボトリー
細胞検査士会創立50周年記念事業監事	片岡 秀夫	彦根市立病院 臨床検査科

収支予算案

収入の部

検査士会補助金	10,000,000	
賛助金	2,000,000	40 社 × 50,000 円
広告費	1,500,000	50 社 × 30,000 円
祝賀会参加費	3,100,000	500 人 × 5,000 円、30 社 × 20,000 円
合計	16,600,000	

支出の部

準備費	900,000	交通費等
記念式典	600,000	印刷費、賞状、盾、記念品等
祝賀会	5,000,000	
記念誌作製費	10,000,000	
その他	100,000	
合計	16,600,000	

賛助金募集要項

1. 名 称 細胞検査士会創立 50 周年記念事業
2. 会 長 伊藤 仁
3. 目 標 額 2,000,000円
4. 期 間 平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日
5. 賛 助 金 目 的 細胞検査士会創立 50 周年記念事業費用
6. 申込書の送付先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
慶應義塾大学医学部 病理学教室
阿部 仁
TEL : 03-5363-3765(ダイヤルイン)
FAX : 03-3353-3290(病理学教室 阿部仁宛)
7. 内 容 一口 50,000円
(賛助金に対して税の減免措置が受けられます)
8. 賛助金の振込先 銀行名 : 三菱東京 UFJ 銀行
支店名 : 神保町支店 (支店番号 : 013)
口座種別 : 普通 口座番号 : 0514406
口座名 : 公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会記念事業
9. 問 合 せ 先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
慶應義塾大学医学部 病理学教室
阿部 仁
TEL : 03-5363-3765(ダイヤルイン)
FAX : 03-3353-3290(病理学教室 阿部仁宛)
e-mail : a-hitosi@z2.keio.jp

賛助金申込書

細胞検査士会創立 50 周年記念事業 宛

年 月 日

下記のとおり賛助金を申し込みます。

_____ 口
_____ 金 _____ 円也

法 人 名 _____ 印

〒
御 住 所 _____

御 担 当 者 _____

TEL. _____

FAX. _____

振 込 予 定 日 _____ 年 月 日

広告募集要項

1. 掲 載 誌 細胞検査士会創立 50 周年記念式典・祝賀会プログラム
2. 発 行 部 数 500 部（予定）
3. 配 布 者 公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会
4. 募 集 期 間 平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日
5. 申込書送付先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
慶應義塾大学医学部 病理学教室
阿部 仁
TEL : 03-5363-3765 (ダイヤルイン)
FAX : 03-3353-3290 (病理学教室 阿部仁宛)
6. 掲 載 料 30,000円
7. 広告料振込先 銀行名 : 三菱東京 UFJ 銀行
支店名 : 神保町支店 (支店番号 : 013)
口座種別 : 普通 口座番号 : 0514406
口座名 : 公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会記念事業
8. 版下について 平成 29 年 9 月 30 日まで以下の送付先にお送りくださいますようお願いいたします。なお、版下 (A5 縦, 白黒, 返却有) は可能であれば電子媒体にて供給して頂けますようお願い申し上げます。
細胞検査士会創立 50 周年記念事業実行委員会
委員長 三宅真司
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
東京医科大学病院病理診断科
TEL : 03-5339-3724 e-mail : s-miyake@tokyo-med.ac.jp
9. 問 合 せ 先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
慶應義塾大学医学部 病理学教室
阿部 仁
TEL : 03-5363-3765 (ダイヤルイン)
FAX : 03-3353-3290 (病理学教室 阿部仁宛)
e-mail : a-hitosi@z2.keio.jp

広告申込書

細胞検査士会創立 50 周年記念事業 宛

年 月 日

下記のとおり広告を申し込みます。

法 人 名 _____ (印)

〒
御 住 所 _____

御 担 当 者 _____

TEL. _____

FAX. _____

振 込 予 定 日 _____ 年 月 日

【資料 14】

公益社団法人 日本臨床細胞学会細胞検査士会
会長 伊藤 仁 様

平成 29-30 年度細胞検査士会役員（幹事）選挙監査報告書

[監査対象] 平成 29-30 年度細胞検査士会役員（幹事）選挙開票作業

日 時：平成 28 年 11 月 5 日 10:00 ~ 13:00

場 所：公益社団法人日本臨床細胞学会事務所

出席者：

選挙管理委員 麻生 晃, 丸 喜明, 二瓶 憲俊

補助員 野村 優南, 加藤 優季, 大谷 祥代

立会人 伊藤 仁, 小松 京子, 石井 保吉, 平田 哲士, 有田 茂実

監事 上野 喜三郎

上記により執り行われた平成 29-30 年度細胞検査士会役員（幹事）選挙の開票作業に立ち会いの上、

1. 投票用紙の取り扱い
2. 開票・集計作業の公正・正確さ
3. その他, 無効票の取り扱いなど
4. 選挙人 258 名中, 251 通 1756 票が有効で, 開票の結果 30 名が選出された。

1 から 4 について厳正に監査した結果, いずれも公正かつ正確に執り行われたことを確認したので報告します。

平成 28 年 11 月 5 日

立会人

署名.....石井 保吉.....

選挙管理委員会からのお知らせ 〈7〉

選挙管理委員会
委員長 麻生 晃

平成29-30年度細胞検査士会役員選挙における役員（幹事）当選者をお知らせいたします。

あいうえお順・敬称略

安達 博成	阿部 英二	阿部 仁	石井 保吉	伊藤 仁	遠藤 浩之
及川 洋恵	片山 博徳	河原 明彦	小林 幸弘	小松 京子	小山 芳徳
澁木 康雄	竹中 明美	田路 英作	仲村 武	南部 雅美	野崎 正行
畠 榮	服部 学	羽原 利幸	原田 仁稔	平田 哲士	藤井 和晃
古田 則行	丸田 淳子	三浦 弘守	三宅 真司	山本 秀巨	横山 俊朗

*選挙人258名中、251通、1756票が有効でした。

*開票の結果、上位30名を選出しました。（無効票：50）

尚、引き続き、本会の会長・副会長を選出する選挙を下記のとおり実施致します。

○立候補受付期間：平成28年12月5日（月）～12月17日（土）

○投票用紙の発送：平成29年1月中

○投票の受付期間：平成29年1月～2月

○開票日時・場所：平成29年2月までに実施、日本臨床細胞学会事務所

会長・副会長選挙の選挙権は、幹事選挙の選挙人と新たに選出された幹事が有します。

この方達には、候補者名簿（略歴・所信・顔写真）、投票用紙などを選挙管理委員会からお送り致します。投票用紙には会長候補1名、副会長候補2名の氏名を記入して締切日までに郵便で投票していただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

会長・副会長に立候補される方は下記の募集要項を参照してください。

会長・副会長立候補者募集要項

平成29-30年度の本会の会長および副会長の候補者を下記のように募集致します。

○立候補資格：平成28年11月5日に開票された幹事選挙に当選した者

※ただし、会長と副会長の両方に重複して立候補することはできません。

○受付期間：平成28年12月5日（月）～12月17日（土）まで

○届出方法：立候補者は会長・副会長の何れに立候補するのかを明示し、下記の必要

書類を添えて選挙管理委員会（a-asou@san-g.com）まで、メールにて届け出てください。

（1）略歴

氏名、生年月日（西暦）、所属施設および職名、現職役職、会員種別

（2）所信表明

立候補に際しての所信・抱負・動機・公約・方針などを500字以内にまとめたもの

（3）顔写真

略歴、所信表明および顔写真は、本会HPに掲載される予定です

がん検診委員会

1. 目的

- ① がん検診受診率の向上
- ② がん検診実施方法の統一
- ③ がん検診における細胞診の精度管理

2. 活動内容

① がん検診受診率の向上

1) 医療従事者への啓発活動

- 日本臨床細胞学会・婦人科がん検診学会・その他学会でポスターを展示する
- 細胞検査士会のホームページで活動を紹介する
- テーマを決めて日本臨床細胞学会でのワークショップを企画・提案する

2) 一般市民への啓発活動

- 子宮の日の活動を実施する
 - ・全国で実施できるように設定する
 - ・各都道府県で市民向けのアンケートを実施・集計し、各項目の推移を検討して啓発活動の質を向上させる
 - ・同様に活動内容に関するアンケートを実施し、問題点を抽出・改善する（渉外委員会と協力して改善）
 - ・日本臨床細胞学会の子宮の日全国アクションで活動内容を報告する
- 細胞学会時の市民向け展示を充実させる
 - ・子宮頸がん・肺がん等の検診の現状・意義・内容・細胞像・細胞検査士の関りをポスターにして展示する
 - ・小さなブースを設置して顕微鏡で子宮頸部・体部、肺、乳腺、胃、大腸、泌尿器、口腔等の細胞を鏡検できるようにする
 - ・がん検診に関するアンケートを実施・集計し、各項目の推移を検討して啓発活動の質を向上させる

○他学会の啓発活動・各都道府県の健康展等に協力する（渉外委員会・開催場所の都道府県代表者と協議）

○細胞検査士が主導する啓発活動・教育活動を企画・運営する（同上）

② がん検診実施方法の統一

- 受診者が全国一律の方法で受診できることを目指す
- 採取法、標本作製法、判定基準、子宮頸がん検診では HPV 併用率等の調査を定期的に実施する
- がん検診の各分野に関連する専門医会から数名をオブザーバーとする

③ がん検診における細胞診の精度管理

- がん検診における細胞診の感度・特異度を評価する
- 不適性標本の割合、判定基準、原因、公表の有無、その後の運用などを調査する
- LBC の臨床的エビデンスをメーカー別に収集して評価する
- 口腔がん検診等において細胞診の有用性を検討する
- がん検診の各分野に関連する専門医会から数名をオブザーバーとする